

# KAYABA RALLY TEAM



## JAF全日本ラリー選手権 参戦レポート #1

2024年 JAF全日本ラリー選手権 第1戦

# RALLY三河湾2024 *Supported by AICELLO*

2024/3/1(金)~3/3(日)

愛知県蒲郡市/岡崎市/豊川市/額田郡幸田町



オールカヤバ体制で初参戦！  
最高峰クラス 6位入賞！



# KAYABA RALLY TEAM



## 大会概要

日程: 2024/3/1(金)~3/3(日)  
 場所: 愛知県蒲郡市 他  
 主催: モンテカルロ・オートスポーツクラブ  
 SS数: 12  
 路面: ターマック&グラベル  
 総走行距離: 253.28 km  
 SS距離: 80.74 km



## スペシャルステージ設定

【DAY1】 3/2(土)

天候: 晴れ / 路面: ドライ

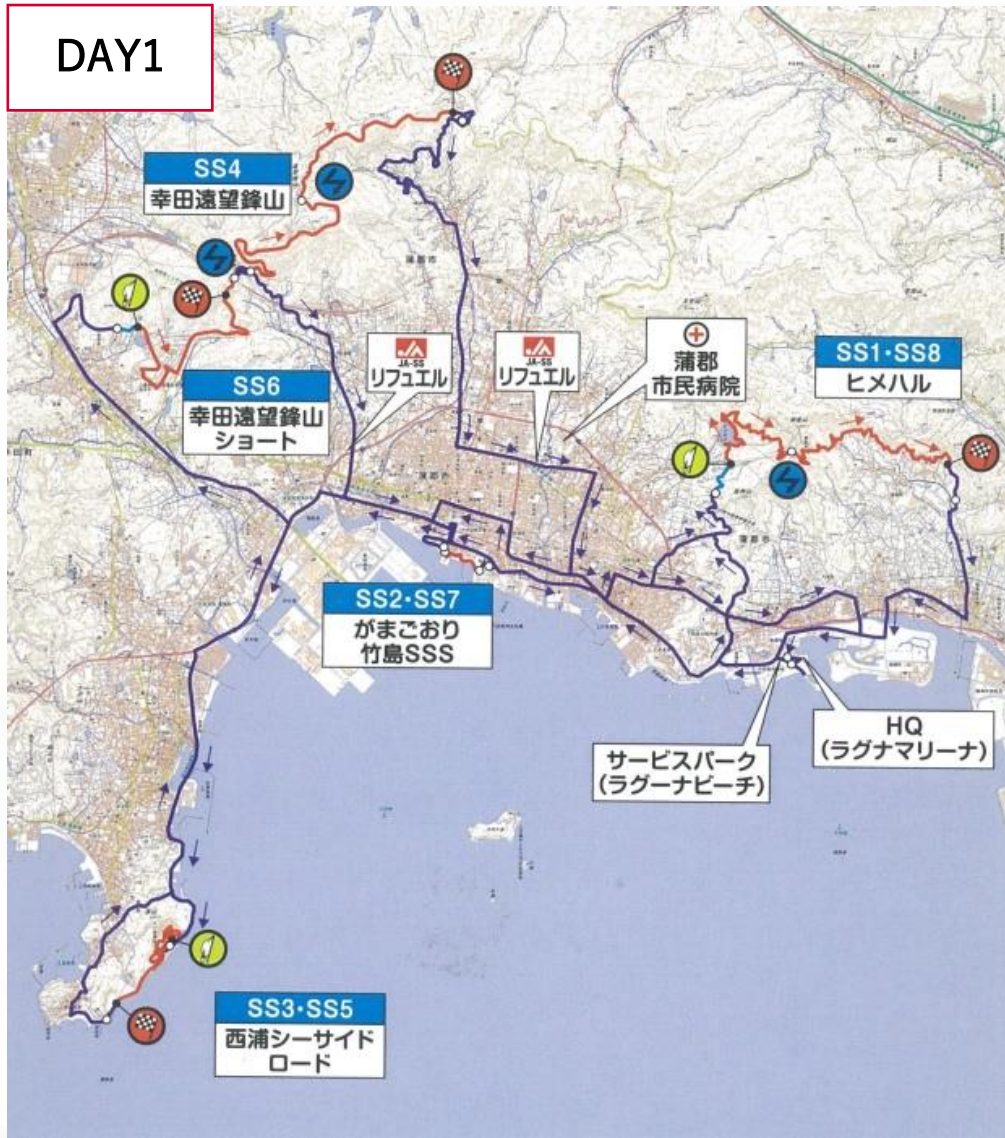
SS1	ヒメハル 1	6.51 km	9:21
SS2	がまごおり竹島 1	0.89 km	10:04
SS3	シーサイドロード 1	4.10 km	10:47
SS4	幸田遠望峰山	10.31 km	11:30
<サービスA (45分)>			
SS5	シーサイドロード 2	4.10 km	14:03
SS6	幸田遠望峰山ショート	3.45 km	14:46
SS7	がまごおり竹島 2	0.89 km	15:19
SS8	ヒメハル 2	6.51 km	16:02
<サービスB (60分)> パルクフェルメ			

【DAY2】 3/3(日)

天候: 晴れ / 路面: ドライ

<サービスC (15分)>				7:45
SS9	岡崎桑谷山 1	10.69 km	8:28	
SS10	豊川宮路山 1	10.72 km	9:18	
SS11	KIZUNA 1	0.58 km	10:11	
<サービスD (30分)>				
SS12	岡崎桑谷山 2	10.69 km	11:29	
SS13	豊川宮路山 2	10.72 km	12:19	
SS14	KIZUNA 2	0.58 km	13:07	
フィニッシュ				

## 全体図



## リザルト

クラス	No.	Dr.	Co-Dr.	参加車両名	車両型式	車両区分	Leg 1										クラス順位	Leg 2										クラス順位	総合計	クラス順位	総合順位
							SS1	SS2	SS3	SS4	SS5	SS6	SS7	SS8	Penalty	合計		SS9	SS10	SS11	SS12	SS13	SS14	Penalty	合計						
JN-1	1	勝田 範彦	木村 裕介	GR YARIS RALLY2	MXPA12	Rally2	6:11.4	0:47.8	2:46.1	6:04.4	2:46.0	2:09.8	0:46.8	6:16.8		27:49.1	1	9:57.7	10:08.3	-	10:08.9	10:11.6	0:42.1		41:08.6	1	1:08:57.7	1	1		
JN-1	5	新井 大輝	金岡 基成	Ahead Skoda Fabia Rally2	ABCUFX11	Rally2	6:27.4	0:47.2	2:48.3	6:04.5	2:46.6	2:09.7	0:46.3	6:11.9		28:01.9	2	10:02.8	10:17.1	-	10:00.1	10:17.0	0:40.0		41:17.0	2	1:09:18.9	2	2		
JN-1	2	福永 修	齊田 美早子	アサヒ☆カナックOSAMU555ファビア	ABCUFX11/R5	Rally2	6:26.9	0:55.1	2:49.9	6:16.2	2:47.3	2:11.5	0:47.1	6:21.9		28:35.9	3	10:38.0	10:43.6	-	10:43.1	10:36.6	0:41.2		43:22.5	3	1:11:58.4	3	3		
JN-1	6	奴田原 文雄	東 駿吾	ADVAN KTMS GRヤリスRally2	MXPA12	Rally2	6:33.4	0:50.6	2:48.0	6:05.8	2:45.5	2:14.1	0:49.2	6:33.1		28:39.7	4	10:49.9	10:58.6	-	10:26.9	10:38.9	0:42.8		43:37.1	4	1:12:16.8	4	4		
JN-1	7	田口 勝彦	北川 紗衣	AICELLOラックDL速心Yaris	MXPA12	Rally2	7:50.2	0:48.5	2:52.5	6:28.3	2:49.4	2:15.9	0:47.7	6:55.0		30:47.5	5	11:05.6	11:31.9	-	11:07.3	11:27.7	0:42.2		45:54.7	5	1:16:42.2	5	5		
JN-2	19	山田 啓介	藤井 俊樹	FIT-EASY Racing ZEAL GRYARIS	GXPA16	RJ	7:50.2	0:51.7	3:00.8	6:37.5	2:58.4	2:27.2	0:51.5	7:07.9		31:45.2	3	11:13.2	11:15.1	-	10:59.4	11:27.3	0:41.7		45:36.7	1	1:17:21.9	1	6		
JN-2	20	貝原 聖也	西崎 佳代子	ADVICS×多賀×K-OneGRヤリス	GXPA16	RJ	7:50.2	0:53.2	2:58.0	6:34.3	2:54.5	2:25.3	0:52.1	7:13.5		31:41.1	1	11:26.5	11:14.0	-	11:11.4	11:06.9	0:47.1		45:45.9	2	1:17:27.0	2	7		
JN-2	16	石川 昌平	大倉 瞳	ARTAオートボックスGRヤリス	GXPA16	RJ	7:50.2	0:53.2	3:00.6	6:54.6	2:59.0	2:25.5	0:51.8	7:00.3		31:55.2	4	11:35.8	11:37.3	-	11:22.6	11:22.0	0:42.6		46:40.3	3	1:18:35.5	3	8		
JN-1	10	石黒 一暢	穴井 謙志郎	カヤバGRヤリス	GXPA16	JP4	7:50.2	0:49.7	2:58.2	6:43.9	2:56.0	2:25.2	0:48.8	7:18.9		31:50.9	6	11:37.0	11:38.7	-	11:37.0	11:13.4	0:42.2		46:48.3	6	1:18:39.2	6	9		
JN-3	26	山本 悠太	立久井 和子	SammyK-oneルボックスYHGR86	ZN8	RJ	7:50.2	0:52.9	2:59.6	6:37.7	2:58.7	2:29.5	0:53.0	7:05.1		31:46.7	1	11:29.7	11:33.9	-	11:30.3	11:36.3	0:46.2		46:56.4	1	1:18:43.1	1	10		
JN-2	12	三枝 聖弥	船木 一祥	名古屋スバル ラック DL WR X	VAB	RRN	7:50.2	0:52.0	2:58.1	6:43.6	2:57.9	2:27.9	0:50.7	7:01.2		31:41.6	2	11:24.5	11:46.0	-	11:36.9	11:31.8	0:43.1		47:02.3	5	1:18:43.9	4	11		
JN-2	13	徳尾 慶太郎	枝光 展義	DLクスコitzzフォルテックヤリス	GXPA16	RJ	7:50.2	0:53.8	3:00.5	6:45.2	2:58.4	2:34.7	0:54.0	7:10.5		32:07.3	5	11:40.7	11:28.7	-	11:23.7	11:23.9	0:46.0		46:43.0	4	1:18:50.3	5	12		
JN-4	39	高橋 悟志	箕作 裕子	ミツバWMDLマジカル冷機スイフト	ZC33S	RJ	7:50.2	0:55.9	3:02.1	6:51.9	3:01.0	2:29.2	0:52.2	7:00.2		32:02.7	1	11:40.5	11:33.3	-	11:35.6	11:40.4	0:48.4		47:18.2	1	1:19:20.9	1	13		
JN-3	30	長崎 雅志	大矢 啓太	NTP NAVUL 86	ZN8	RJ	7:50.2	0:55.8	2:59.7	6:40.6	2:58.2	2:29.3	0:55.9	7:10.2		31:59.9	2	11:40.1	11:43.3	-	11:33.7	11:38.2	0:48.3		47:23.6	2	1:19:23.5	2	14		
JN-3	29	山口 清司	澤田 耕一	エナベタルADVAN久與GR86	ZN8	RJ	7:50.2	0:55.4	3:00.9	6:56.5	3:00.8	2:28.4	0:52.8	7:00.4		32:05.4	3	11:50.0	11:45.2	-	11:34.4	11:40.8	0:50.2		47:40.6	3	1:19:46.0	3	15		



## ■ダイジェスト

カヤバラリーチームは2024シーズンより、選手も含めた全員が社員となるオールカヤバ体制で、全日本ラリー選手権最高峰クラスであるJN-1クラスへ参戦する。その第1戦となるRALLY三河湾が、愛知県蒲郡市を主な舞台とし3/1(金)～3(日)に開催された。

昨年までの新城市から蒲郡市に新たに舞台を移し、初開催となる本大会では最大台数となる90台が参加し、沿道には多くの観客が集まる注目度の高い大会となった。

3/1(金)にはペースノートを作成するためのコースの下見走行(レッキ)を行い、17時より蒲郡駅前の特設ステージにてセレモニアルスタートを実施。多くのギャラリーが見守る中、盛大に幕を開けた。

チームの新たな一つの課題として給油方法の変更がある。JN-1車両の規定により、衝突時の安全性を向上させるために、通常の燃料タンクから材質等を変更した特殊な燃料タンクに変更。一般的な給油方法とは異なり、給油時は専用の給油ホースを用い給油する必要がある。競技車両に給油ホースを積載できない規定のため、メカニックはクルーよりも先回りしてガソリンスタンドに到着し給油する、という点も今年の変化点の一つ。



## 【DAY1】

SS1は狭く路面も汚い難しい林道ステージだが、先行車のマシントラブルにより赤旗が提示されステージキャンセルとなる波乱のスタートとなった。

カヤバクルーの実質のデビューとなったSS2は蒲郡駅前の埠頭を利用したショートステージ。多くのギャラリーが見守る中、ベテラン勢に食い込む渾身のタイムを叩き出しクラス6位/総合6位と存在感をアピールした。

SS3はサーキットコースとサーキット脇の海沿いの道を使用したステージ。ラリーでサーキットを走行するのは珍しい光景となる。

SS4は三河湾スカイラインを使用したハイスピードステージ。車両を確実にコントロール下に置く無理のない走りをしつつも、クラス8位/総合14位の速さを見せた。

続く45分間のサービス(車両整備)時間では、昨年1年間で鍛えられたメカニックの無駄のない動きにより、整備メニューをこなしつつ余裕を持って車両を送り出した。

2ループ目となるSS5～8も、攻める箇所は攻め、守る箇所は守るメリハリのある走り、車両に傷一つつけない走りを見せ、クラス7位/総合11位でDAY1を終えた。

※SS…スペシャルステージの略。道路占有許可を得た競技区間のこと





# KAYABA RALLY TEAM



## 【DAY2】

10kmを超える2種類の林道を使用するSS9/SS12、SS10/SS13とトヨタ自動車（株）のグラベルテストコースを使用したSS11/SS14で構成される。

SS9・SS10は路面が非常に滑りやすく、タイムよりも完走することを重視し、リスクを避けた走りに徹する。それでも挙動を乱す危ない場面もあったもののほぼ無傷で完走。リタイア車両も出る中、着実に順位を守った。SS11はキャンセルとなっている。

2ループ目となるSS12の林道ステージはコ・ドラのリーディングミスが発生するも、最低限のロスに留め順位をキープ。続くSS13は林道での走行ペースをつかんだことで1度目の走行時(SS10)より25.3秒ものタイムアップを果たし、クラス7位/総合8位のタイムを記録した。

最終ステージとなるSS14のグラベルステージは、自身が巻き上げた砂埃でパイロンを一瞬見失うも、ロスを最小限に留めることを意識した走行でクラス4位/総合6位のタイムをマーク。全SSを不具合無く走破した。

最終結果として、クラス6位/総合9位で完走。JN1デビュー戦としては上々のスタートとなった。





# KAYABA RALLY TEAM



## Dr. 石黒 一暢 コメント

2024年からJN-1クラスに参戦するという事で、スタート前はかなり緊張しておりました。4WDターボ車でのラリーも初であったため、しっかりとレッキ（競技区間の下見走行）で集中し、確実に完走できるようなノートづくりに取り組みました。絶対完走の銘のもと、着実に走り切れるよう心掛けながらも踏めるところは踏み、抑えるところは抑えるといった具合にメリハリをつけた走りができ、結果につながったものと思います。

エンジニア、メカニックも昨年の経験を生かし適切な作業で送り出してくれたおかげで、ストレスを感じることなく安心して走ることが出来ました。また、今年から加わった燃料タンクへの専用ホースでの給油作業は、一滴でも車両にこぼすと失格の恐れがある非常にシビアな作業でありながら、滞りなく終えていただくことが出来ました。

私自身林道でのペースはまだまだ課題が多く改善の余地ありのため、引き続き改善していく所存です。



## Co-Dr. 穴井 謙志郎 コメント

コ・ドライバーの仕事はスケジュール管理から燃料計算、ルート把握など事前準備が大半を占めますが、念入りの準備が功を奏し、本番においてはほぼスムーズに進行することができました。交通渋滞でリエゾン区間は苦しみましたが、結果としてコ・ドラ由来のペナルティ0も達成し、SS区間以外は満足の結果になりました。ノートリーディングは、発声タイミングや声の出し方に改善の余地がまだまだたくさんあります。また、SS12でロスト（ノートの読むべき位置を見失うこと）してしまい、その後復帰できたものの200mほどペースダウンを余儀なくさせてしまったことが大きな心残りです。

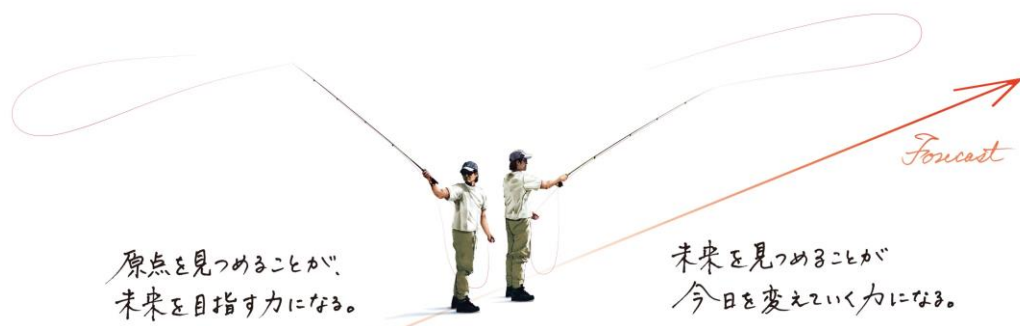
絶対に完走させるという思いのもと、危険なSSは無理をしないペース管理をしていましたが、それでも難しい狭く荒れた道で車両をコントロールし、ほぼ無傷で完走しJN-1入賞まで果たした石黒のドライビング能力の高さには驚くばかりです。想像以上の結果ではありましたが、まだまだ良い結果を出せると確信しています。石黒の能力を100%引き出せるよう、ミスをしない正確無比なコ・ドライバーを目指して精進いたします。



## Special Thanks



※写真は他にもございます。必要でしたらお申し付けください。



カヤバ株式会社  
公式YouTube



カヤバ株式会社  
公式Instagram



カヤバ株式会社  
公式X(旧Twitter)

Backcast  
私たちは創業から息づく「ものづくり」の原点に立ち返り、未来に向かって歩み続けます。  
Kites rise highest against the wind - not with it. Winston Churchill

**KYB**  
Our Precision, Your Advantage